(一社)熊本県サッカー協会

公　式　記　録

マッチコミッショナー	主　審
新生　恒治	宮原　一也

大会名：平成30年度 第40回 九州高等学校（U－１７）サッカー大会（九州高等学校サッカー新人大会）　マッチNo.［31］

日時	2019年2月19日　10:00	試合形式	70分	会場	大津町運動公園競技場				
天候	雨	気温	9.7 ℃	湿度	100 %	風	弱	ピッチ状態	観客数
マッチコミッショナー	新生　恒治	副審１	廣田　幸治	第４の審判	白石　栄二	芝	全面良芝	100 人	
主審	宮原　一也	副審２	前田　憲志	記録担当	野口　慶	表面	水溜り		

私立筑陽学園高等学校	2	0	前半	0	0	私立宮崎日本大学高等学校
		2	後半	0		
			延長前半			
			延長後半			
Kick off			PK			Kick off

交代 No.	交代 out時間	シュート 延後	延前	後半	前半	計	得点	選手名	番号	位置	位置	番号	選手名	得点	シュート 計	前半	後半	延前	延後	交代 out時間	交代 No.
								野中　友椰	①	GK	GK	1	東上里　康登								
				1		1		益永　望光	3	DF	DF	3	上田　魁人								
				1	1	2	1	吉村　颯真	4	DF	DF	④	田﨑　常慈		2		2				
					1	1		牟田　愁平	15	DF	DF	6	黒木　俊吾								
								船原　零央	18	DF	DF	12	小野　翔汰								
								上甲　隼輔	19	DF	MF	7	橋邊　好佑							50分	9
				1		1		古賀　健琉	6	MF	MF	10	矢野　翔大		1	1					
					1	1		過能　工太郎	9	MF	MF	13	山口　哲平								
								藤　隆成	20	MF	MF	15	田中　和騎								
				1		1		寺岡　聖斗	10	FW	FW	11	櫻田　優樹		1		1				
				3		3	1	岩﨑　巧	12	FW	FW	16	角　佑哉							27分	8
								井本　匡哉	17	GK	GK	17	甲斐　晴十郎								
								今田　光	2	DF	DF	2	矢野　瑞貴								
								大塚　剣士	5	DF	DF	5	高木　俊秀								
								古賀　敬仁	7	MF	DF	14	森井　佑亮								
								笹隈　隼人	8	MF	DF	18	関原　琢也								
								南部　空我	13	MF	MF	8	福留　龍磨		1		1				
								栗尾　瑠	14	MF	MF	19	日野　昴								
								深松　大雅	11	FW	MF	20	野田　隼輔								
								塩塚　玲生	16	FW	FW	9	行田　啓斗		1		1				

警告・退場 時間	区分	No.	氏名	理由

監督	青柳　良久
監督	南　光太

警告・退場 時間	区分	No.	氏名	理由

延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後
0	0	7	3	10 シュート	6	1	5	0	0
		3	3	6 GK	7	2	5		
		3	1	4 CK	5	0	5		
		5	2	7 直接FK	3	2	1		
		1	2	3 間接FK	1	1	0		
		(1)	2	(3) (ｵﾌｻｲﾄﾞ)	(1)	(1)	0		
				PK					

得点時間	得点チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過記録例］：～ドリブル,→ゴロのパス,↑浮き球パス,×混戦,Sシュート,Hヘディング									
49分	筑陽学園	4	吉村　颯真	1-0	右CK	9	↑	中央１	4	HS				
68分	筑陽学園	12	岩﨑　巧	2-0	左サイド2	FK	6	↑	中央１	１０	↑	１２	HS	

PK戦の経過	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

［試合時間］ 前半　：［:］、後半　：［:］、合計　　：　［　：　］

【戦　評】　　【記入者：　迫　宏一　】

雨が降りスリッピーなピッチコンディションの中行われた3位決定戦は、筑陽学園、宮崎日大ともに、中盤にダブルボランチを置く4:4:2のマッチアップでスタートした。立ち上がりから両チームともロングボールを多用し、相手陣内でのプレータイムを長くしようと試みる。球際の出足で勝る筑陽学園が徐々に押し込む時間を長くし、サイド攻撃からチャンスをうかがうがうがうが決定機を作れない。宮崎日大も自陣ゴール前の人数を増やし対応するが、奪ったボールを効果的な縦パスにつなげられずチャンスが作れないまま前半が終了した。後半に入り雨足が更に強まる中、宮崎日大は4:1:4:1にシフトチェンジしFW⑪櫻田を起点にパスワークから活路を見出そうとする。対する筑陽学園はリスタートから先制し、GK①野中を中心とする守備陣が奮闘を見せ粘り強いゲーム運びで相手にゴールを割らせない。雨中のバトルとなった一戦は、一瞬のチャンスを確実にものにした筑陽学園が勝利した。連戦の中、最後まで走り切った両者の健闘に拍手を贈りたい。